

令和4年9月20日（火曜日）

予算決算委員会文教・子育て分科会

第2委員会室

出席委員

小林由朗、駒田かすみ、阿山正人、宮本吉秀、  
梅木百樹、苦瓜一成、江口千洋、今里朱美

欠席委員

川島淳良

【文教・子育て委員会（こども未来局）の審査】

再開

10時52分

こども未来局

10時52分

送付議案説明

- ・議案第77号 令和3年度姫路市一般会計決算認定  
について
- ・議案第79号 令和3年度姫路市母子父子寡婦福祉  
資金貸付事業特別会計決算認定に  
ついて

質疑

11時07分

（質問）

地域子育て支援拠点事業費に関して、予算措置施設  
として記載されている姫路駅前子育て支援ひろばと  
駅前すくすくひろばは、何が違うのか。

（答弁）

姫路駅前子育て支援ひろばの整備事業が予算化さ  
れたときには、まだ駅前すくすくひろばという名称が  
決定していなかったため、事業費の名称が当初のまま  
となっている。2つとも同じ施設である。

（質問）

予算決算委員会資料の全般にわたって、他の局では  
収入率や執行率について全てパーセンテージが記載  
されているが、こども未来局の同資料にはその記載が  
ない。

なぜ他局と記載方法が違うのか。

（答弁）

こども未来局では、この様式でこれまで作成してい  
たが、今後は収入率や執行率を盛り込んだ様式に変更  
する。

（質問）

令和2年度の決算資料もこの様式であったのか。

（答弁）

そうである。

（質問）

分担金及び負担金の児童福祉費負担金について、収  
入未済額が463万2,120円、不納欠損額が49万6,900  
円とあるが、内訳を説明してもらいたい。

（答弁）

同負担金の収入未済額の大部分は、放課後児童健全  
育成事業受益者負担金、いわゆる放課後児童クラブの  
利用に係る負担金と、市立及び私立施設教育・保育給  
付費利用者負担金、いわゆる保育所等の利用に係る保  
育料となっている。

不納欠損額の内訳については、放課後児童健全育  
成事業受益者負担金が33万3,000円、市立施設教育・  
保育給付費利用者負担金が2万4,100円、私立施設教  
育・保育給付費利用者負担金が13万9,800円となっ  
ている。

（質問）

放課後児童健全育成事業受益者負担金や市立及び  
私立施設教育・保育給付費利用者負担金について、収  
納率は例年どおりの水準であったのか。

（答弁）

放課後児童健全育成事業受益者負担金の現年収納  
率は、令和3年度は99.7%、令和2年度は99.9%で、  
令和2年度に比べて0.2%収納率が下がったという状  
況である。過年度分の収納率については、令和3年度  
は15.8%となっている。

市立及び私立施設教育・保育給付費利用者負担金の  
現年収納率は、若干、年によって上下はあるが、令和  
3年度は99.87%、令和2年度は99.93%で、令和2  
年度に比べて0.06%収納率が下がったという状況で  
ある。過年度分の収納率については、令和3年度は  
54.97%、令和2年度は60.3%で、若干収納率が下  
ってきている状況である。

両負担金の納付方法については、令和3年度後半か  
らキャッシュレス決済とコンビニ納付を導入するこ  
とで、より多くの納付機会を設けている。

今後は、納付方法の拡大についてさらなる周知を行  
い、収納率向上に取り組んでいきたい。

（質問）

放課後児童健全育成事業受益者負担金は収納率が

99.7%と高い割に多額の収入未済額があり、不納欠損まで出ているが、どのような原因があるのか。

(答弁)

放課後児童クラブについては、1年間を通して利用する人が多くいる一方で、夏休みだけ利用する人や、最初に4月から1年間利用すると申し込みしても途中で退所してしまう人もいます。

継続して利用している人であれば、このまま未納が続けば退所もあり得ると強く警告して同負担金を納めてもらうこともできるが、一旦退所されてしまうと同負担金の徴収が難しくなってくることも理由の1つであると考えています。

今後も納付指導に努めていきたい。

(質問)

同負担金の納付指導に関して、児童が在籍する学校の教職員の協力を仰いでいるのか。

(答弁)

特に教職員に協力してもらうことはない。保護者が児童を迎えに来たときに、放課後児童クラブの職員が直接保護者と話をし、その場で納付指導を行うほか、口座振替の申請をしてもらうなど、滞納を減らす努力をしている。

(質問)

教育総務費貸付金元利収入について、予算額500万1,000円に対して調定額はゼロ円になっているが、どういうことなのか。

(答弁)

同貸付金は平成27年度から開始された子ども・子育て支援新制度に基づかない私立幼稚園において、施設整備を行う際に預託するための費用である。

新制度に移行していない私立幼稚園はもともと1園だけであり、令和3年度は同園が施設整備を行わなかったものである。

(質問)

母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計中、諸収入の延滞金について、調定額36万1,663円の全額が不納欠損となっているが、どのような理由であるのか。

(答弁)

当該延滞金については、過年度の償還金に係る違約金である。過去に裁判の提起をしたもので、和解した後、分割納付で返済を受けていたが、途中で返済が止

まってしまい、差押えを行ったものの違約金部分まで差押えができるだけの資産がないということで終結し、資産なしということで不納欠損処理をしたものである。

(質問)

母子父子寡婦福祉資金貸付事業費における貸付金について、予算額7,000万円に対して支出済額は1,890万500円であり、執行率が非常に低いですが、例年このような状況であるのか。

(答弁)

同貸付金の中では、修学資金と就学支度資金が大きな比率を占めている。

令和2年度から、文部科学省において給付型の高等教育の修学支援新制度が開始されたため、令和2年度以降、同貸付金の貸付実績が大きく下がっている。

令和元年度までは、毎年度5,000万円近く貸付実績があったものである。

(質問)

令和3年度主要施策並びに基金運用状況報告書では、ひとり親家庭等就労支援事業について、自立支援プログラムが139件作成されているほか、自立支援教育訓練給付金を16人、高等職業訓練促進給付金を23人、高等職業訓練修了支援給付金を8人給付したとの記載があるが、このような取組を通して就労に結びついた人はいるのか。また、就労できたかどうかの状況把握は行っているのか。

(答弁)

就労に結びつく人が多いのは確かである。

アンケートを実施するほか、相談員がハローワークへ同行するなど、就労状況の把握も行っている。

就職が決まった3、4か月後には、フォローのために手紙を送ることで、その後、就職が定着しているかの確認もしている。

(質問)

令和3年度において、就職数や就職の定着状況などはどのようになっているのか。

(答弁)

手元に資料がないため回答できない。

(質問)

ひとり親家庭就労支援事業及びひとり親家庭自立支援給付事業は、非常によい事業である。給付型では

なく、就労による自立を目指して、自分たちの力にしていってもらふことは、彼らの財産になると思う。

令和 3 年度はコロナや様々な状況で就労に結びつく人が少なかったのではないかと懸念しているので、同事業の就労実績等が分かる資料を提供してもらいたい。

(答弁)

(委員会終了後に資料配付あり)

(質問)

放課後児童健全育成事業費における安富南放課後児童クラブ体育館天井工事について、天井工事を実施したのは、体育館全体のうち放課後児童クラブとして使用している箇所だけであるのか。

(答弁)

そのとおりである。

**こども未来局終了**

**11時25分**

【文教・子育て委員会の意見とりまとめ】

**意見取りまとめ**

**11時42分**

・分科会長報告について

正副分科会長に一任すべきものと決定。

**閉会**

**11時43分**

【文教・子育て委員会の協議事項】